



平成三十年 国語採点基準表

書き取り採点上の注意

1. 点画・へんやつくり等の組み合わせのずれは、その文字の本質をゆがめない範囲なら許容する。
2. 付くべきところが離れていたり、離れるべきところが付いていたりしても、その文字の本質をゆがめない範囲なら許容する。
3. へんやつくり等の組み合わせや筆勢の関係から、画の長短が生じたり、はねないところがはねていたり、点画が自然な形で次へ続いていたりしても、その文字の本質をゆがめない範囲なら許容する。

【四】問5

	観 点	評 価		
		良	可	不可
記 述	① 一段落構成で、規定の字数（80字以上100字以内）になっている。	/	1	0
	② 言語事項（漢字、仮名遣い、句読点、記号、符号など）の使い方が適切である。原稿用紙の使い方が適切である。主述、修飾・被修飾の関係を正しく表現している。	/	1	0
内 容 構 成	① 「『大変満足』の割合を見ると、」につながるかたちで、資料Cから読み取った内容が正確に述べられている。	/	1	0
	② 資料Cから読み取った内容に対する自身の意見が述べられている。	/	1	0
計		4点		
備 考	①80字未満の文章に関しては最高2点とし、配点を考慮すること。 ②文体は話し言葉でも書き言葉でも可とする。 ③書き始めを一マス空けていても、記述での減点要素としない。			

【四】問6

	観 点	評 価		
		良	可	不可
記 述	① 一段落構成で、規定の字数（140字以上160字以内）になっている。	/	1	0
	② 言語事項（漢字、仮名遣い、句読点、記号、符号など）の使い方が適切である。原稿用紙の使い方が適切である。主述、修飾・被修飾の関係を正しく表現している。	/	1	0
内 容 構 成	① 沖縄県の観光のために必要だと思うことが述べられている。	/	1	0
	② 沖縄県の観光のために必要だと思うことの原因が述べられている。	/	1	0
	③ 内容が具体的であり、論の運び方に一貫性がある。	2	1	0
計		6点		
備 考	①140字未満の文章に関しては最高3点とし、配点を考慮すること。 ②書き始めを一マス空けていなくても、記述での減点要素としない。			